

消費者ニーズ

安全・安心の保証に

(おわり)

(岐阜大学応用生物科学部教授・福井博一)

期待高まる
MPS[®]

花消費の鈍化による価格低迷、生産コストの増加が、生産者の経営を圧迫し始めている。このような状況で、国内花き生産業界が目指すべきは、消費ニーズへの積極的な対応である。

消費ニーズの把握には、販売店や中間流通業者を経た情報伝達が不可

多彩なMPS認証

欠であり、生産者から小売店までの密接な連携が重要となる。

MPSはこれらの連携する関係者を認証する制度であり、MPSをキーとして生産と流通が一体となつて情報収集に取り組みることが可能となる。

欧州を中心とするMPSは、生産・市場・流通業界内に閉じた形で発達しているため、消費者が購入する花にMPSマークが添付される事例はほとんどない。

これに対して日本型は、生産者、市場と流通

業者が一体となつて、消費者に環境や品質を保証しようとするシステムである。登録生産者の花にMPSマークを添付して、安全・安心を消費者にアピールしようとする、世界でも例のない取り組みである。

MPSマークを添付した商品からは、生産や流通過程における品質管理の情報を得ることができ、まさに花き業界における「安全・安心」が保証される。

食品業界においては、輸入に限らず、国産においてもさまざまな問題が生じている。

花き商品に関しては、MPS-Japanが第三者として消費者に対して「安全・安心」を保証し、提供することが可能となる。

多彩なMPS認証

